

令和6年度 第5学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成果 ● 課題
知識・技能	<p><算数・社会></p> <ul style="list-style-type: none"> 表やグラフからデータを読み取り、正しく内容理解ができない児童が多い。 <p><国語・算数></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識や計算の技能を活用できない児童が多い。 	<p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> 帯グラフと円グラフ <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆言語単元 	<p>ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量感覚を身に付けてデータを読み取ることができるように、デジタル教科書を用いてグラフ操作をしたり、表計算ソフトで表を作成したりする機会を設ける。 <p>交流活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句の優れた使い方に触れたり、計算の技能を活用したりすることができるように、友達同士で学習内容の交流をする場面を取り入れる。 	
思考力・判断力・表現力等	<p><全教科></p> <ul style="list-style-type: none"> 気付きや疑問を挙げることは活発にできるが、一人一人が問題意識をもつことや問題を解決するための方法を考えることに課題のある児童が多い。 	<p><理科></p> <ul style="list-style-type: none"> ものの溶け方 <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ○大造じいさんとガン 	<p>単元計画の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元計画を工夫する。一人一人が問題意識をもち、自分の問題を解決するための方法をそれぞれが考え、自ら解決できるようにする。 <p>交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの意見を活発に共有し、より妥当な考えをもつことができるよう交流活動をする。 	
学びに向かう力・人間性等	<p><全教科></p> <ul style="list-style-type: none"> 自らに向き合い、粘り強く取り組むことが難しい児童が多い。 学びを振り返り、自己の学び方や伸びた力を正しく認識することが難しい児童が多い。 	<p><体育></p> <ul style="list-style-type: none"> ○走り高跳び <p><社会・国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「情報を伝える人々とわたしたち」と「ミニディベート」との関連 	<p>導入の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が課題意識と学習の見通しやゴールイメージをもって学びを進められるように、自分の課題を明確にする時間を設ける。 <p>振り返りの書き方の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを書く際に、「新たに学んだこと」や「気付いたこと」、「自分ができるようになったこと」、「次回に向けて」等の視点を明示する。また、書かれた振り返りに対して、随時フィードバックを行う。(学びの調整) 	